

AG/SUM
AGRITECH SUMMIT 2018

未来農業、世界で育てる

アグリテック・サミット 来月11~13日に



神成 淳司氏



岡野 栄之氏



江島 潔氏



マチルダ・ホー氏

農業ビッグデータ、植物工場、フードテック、農泊……。今回のアグリテック・サミットでは中心テーマである農業はもちろん、隣接分野についても議論を深め、事業アイデアを競う。

農業のIT（情報技術）活用を進化させるうえで欠かせないのは、各種データの連携だ。現在、さまざまな農業ITサービスが生まれているものの、相互の連携がない。そこで昨年8月、

データの共有や標準化をめざし、産学官による農業データ連携基盤協議会（WAGRI）が発足。今年4月には企業に各種データの提供を始め、本格運用に向けが集まっている。

アグリテック・サミットのシンポジウムでは、WAGRI会長を務める神成淳司慶應大教授が登壇する。データの活用で農業の生産性をどのように高めることができるか、農業関係者と

討議しながら解説する。
同じく慶應大の岡野栄之教授(医学研究科委員長)、富田勝教授(先端生命科学研究所所長)も医療やバイオをテーマとしたセッションにそれぞれ参加する。
今回のアグリテック・サミットは漁業も重要なテーマに据える。水産の街、山口県下関市の元市長で自民党衆院議員が、長谷成入水産業庁長官や水産業経営者を交

イツの創業者
一氏がシン
壇。食料不
環境破壊の効
果たす役割を
生育環境を
内の温室で吸
物工場の注目
ンティの幹部
住宅宿泊事業
の施行を60
集める農泊
体験宿泊)を
上げる。

者マチルダ・ホ
ポジウムに登
足や畜産による
解決に起業家が
を探る。
を制御したビル
野菜を育てる植
目企業、米プレ
部も参加する。
業法（民泊法）
月に控え話題を
(農山漁村での
も重点的に取り

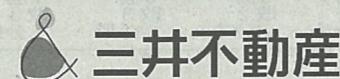
農業・漁業・バイオでシンポ

参加する主なスタートアップ(予定、順不同)

会社名(国名)	概要
Plenty(米国)	収穫量を従来より大幅に増やした植物工場。昨年、ソフトバンク系などから2億ドル調達
グランドグリーン(日本)	マイクロチップを用いた接ぎ木。新品種の開発ペースを速めた
Tarsens(トルコ)	さまざまな波長の光を検出するカメラとAIを使った精密農業支援
Finless Foods(米国)	細胞から培養したマグロの生産を目指す
Sugarlogix(米国)	母乳にしか存在しない栄養素を含んだ多機能性の糖類を開発
Inspecto(イスラエル)	食物の残留農薬や汚染をその場で計測できるポータブル・デバイス
Earth Rover(英国)	火星探査の技術を使った精密農業ロボット
Huxley(オランダ)	AIとAR(拡張現実)で栽培を支援するウエアラブル端末
ベースフード(日本)	人間に必要な栄養素をすべて盛り込んだパスタを開発

チコに参加
ピッチなどにアップ
アゲサムのトスタートする
アンテストを募集しています。
申し込みは<https://agsum.jp/pitch-entry>から。締め切りは
5月15日

主な参加企業・団体（3日時点）

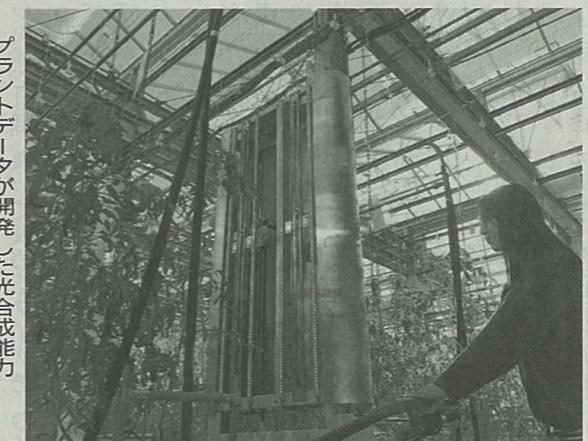
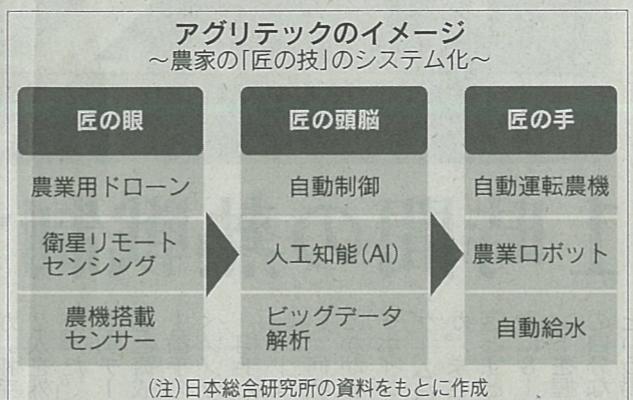


日本経済新聞社は6月11～13日、東京の日本橋三井ホールなどで開催するイベント「AG／SUM（アグサム）アグリテック・サミット」で、アグリテック（農業とテクノロジーの融合）にスポットを当てる。ビッグデータ解析や人工知能（AI）、ロボットなど先端技術を農業に生かすアイデアが実用化に近づいている。国内外の政府、農業団体、大手企業・金融機関の幹部やスタートアップ経営者を集め、農業が成長産業に脱皮する道を探る。（1面参照）

かを調べている。
技術を開発したのは愛媛
大発のベンチャーライフエン
ターナー（松山市）だ。病
気や高温などの影響で植物
が弱り、光合成する元気が
なくなると、いずれ生育不
良となって影響が顕在化す
る。プランターナーの技術
はその手前で異常を見つけ
ることで、栽培の失敗を防
ぐことを目指す。

先進経営で知られる浅井農園（津市）でこれまでの栽培方法の常識を覆す技術の実証実験が進められている。テーマは「植物の光合成の能力を検知する」。トマトの木に青色発光ダイオード(LED)の光を当て、植物がうまく光合成できなく大惨敗になっているかどうか

LEDで光合成の能力検知



「健康的で栄養価の高い食料を提供し、環境も保全するため、持続可能な食料システムを推進しなければならない」。国連食糧農業機関（FAO）のグラジアノ事務局長は4月、ローマのFAO本部で開いた討論会でこう強調した。

同事務局長によれば、これまで食料生産は大量の資源を投入し環境に負荷をかける農業システムに支えられ、土壤、森林、水、大気、生物多様性を損ない続けてきた。そうした犠牲を払ってでも生産を増やすやり方では飢餓をなくせなかつた半面、「世界で肥満が広がっている」と指摘する。

もちろん市場経済をいたずらに敵視しては、環境、飢餓、健康などの問題を解決できないことは、20世紀に大半が崩壊した社会主義諸国の教訓から明らかだ。旧ソ連ではノルマ

(編集委員) 吉田忠貞

＜開催概要＞
イベント名称 AG／SUM (アグサム) アグ
リテック・サミット 2018
日時 6月11～13日
会場 日本橋三井ホール (11、12日) 、日本橋